

武蔵小杉駅でバスのリアルタイム情報を提供する デジタルサイネージを広告料収入で運営する実証を開始します

川崎市では、持続可能な交通環境の形成に向け、公共交通の利用促進や交通結節点等（複数の交通機関の集まる場所）における利用環境改善の取組を進めております。

この度、武蔵小杉駅東口で同駅東口から発車する全路線バス（川崎市バス、東急バス、川崎鶴見臨港バス等）の発車案内や位置情報（リアルタイム）等を提供するデジタルサイネージを広告料収入で運営する実証を 9 月 24 日から市内で初めて開始します。

1 概要

- (1) 設置個所 武蔵小杉駅東口（中原区新丸子東 3 丁目）
- (2) 設置内容 デジタルサイネージ 2 基（バス案内用 1 基、広告用 1 基）
- (3) 実証期間 令和 7 年 9 月 24 日（水）～令和 8 年 3 月 31 日（火）
（実証後、課題等に対応した上で、本格実施に移行します。）
- (4) 提供情報 全路線バス情報（発車案内、位置情報（リアルタイム）、のりば案内等）、イベント情報、広告（公共、民間）、災害情報等
- (5) 運営事業者 ながたこうこく 長田広告株式会社（本社・愛知県津島市） ※公募により決定

デジタルサイネージの設置位置



提供するバス情報のイメージ



バス
発車案内

バス位置情報
(リアルタイム)



等々力緑地
アクセス案内

デジタルサイネージの設置イメージ



2 表示内容

- ・全路線バス情報 発車案内、バスの位置情報（リアルタイム）、のりば案内等を表示
- ・イベント情報 バス路線沿線のイベント、スポーツに関する情報を表示し、会場へのアクセスでのバス利用を促進
- ・広 告 民間広告と市からのお知らせ等を表示。市からのお知らせは全体の2割程度を予定
- ・災 害 情 報 災害発生時等には自動で表示が切り替わり情報を提供。停電時も一定時間非常電源で稼働

3 実証内容

実証期間に行う検証を踏まえ、適宜、表示の調整等を行った上で、本格実施に移行します。

- ・検証項目 周辺景観への影響、安全性、バス案内の効果、事業性等
- ・検証方法 アンケート、現地確認、関係者からの聞き取り等
(令和7年12月以降実施見込み)
- ・本格実施期間(予定) 令和8年4月1日～令和17年8月31日

4 狙い

- ・効果的な情報提供により、乗り換えの煩雑性を軽減させ、公共交通の利用環境を改善します。
- ・市内の交通結節点等における今後の情報提供のあり方について、検証を行います。

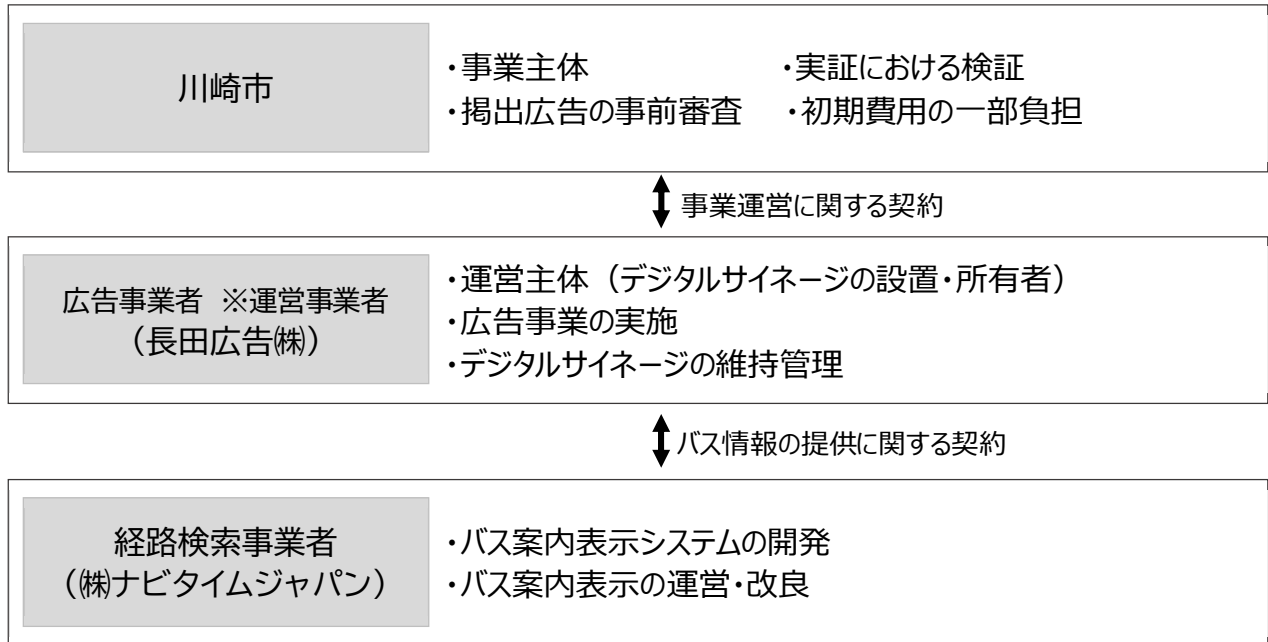
5 事業スキーム

事業全体の運営をする広告事業者、バス情報を提供する経路検索事業者(※)等と連携し、効果的に事業を実施します。

広告事業者が事業の運営者として広告事業を実施することで、運営費を確保し、民間主導の体制を構築することにより、経路検索事業者等の持つ公共交通に関する情報提供のノウハウを最大限生かして事業を行います。

※web等において経路検索サービスを提供する事業者

6 実施体制



問合せ先
川崎市まちづくり局交通政策室 小部
電話 044-200-2760